

令和6年度C N F 実用化推進事業費 予算概要

令和6年度C N F 関連諸施策の展開にあたって

本市では、令和元年 11 月に「富士市C N Fプラットフォーム（以下、P F）」を設立し、P Fが主体となり、C N F 関連諸施策を展開している。現在、「富士市C N F 関連産業推進構想」の「第2期アクションプラン（以下、A P）（R4～R6）」に基づく取組を進めており、令和6年度は、第2期A Pの最終年度にあたることから、これまでの事業を着実に進めるとともに、第3期A Pに繋げるべく、本市のC N Fに取り組む環境等を有効に活用し、更なるP F会員連携の促進、技術・製品等を創出する取組を積極的に実施する。

《C N Fを取り巻く実用化動向等》

自動車や家電等、市場インパクトやカーボンニュートラルへの波及、質と量を伴う技術確立・製品開発等を進める必要性

－ 懇話会等からの意見・助言など －

- ・ C N Fの裾野の拡大と認知度の向上
- ・ P F会員と域外や異分野・異業種との連携が重要
- ・ 「オープンイノベーション（O I）」による取組を推進することが、市の新しい支援形態やプロモーションとしても有益
- ・ 静岡大学や東京大学等との繋がりを活用した拠点の形成に向けた取組の推進

《C N Fに関する拠点形成に向けて》

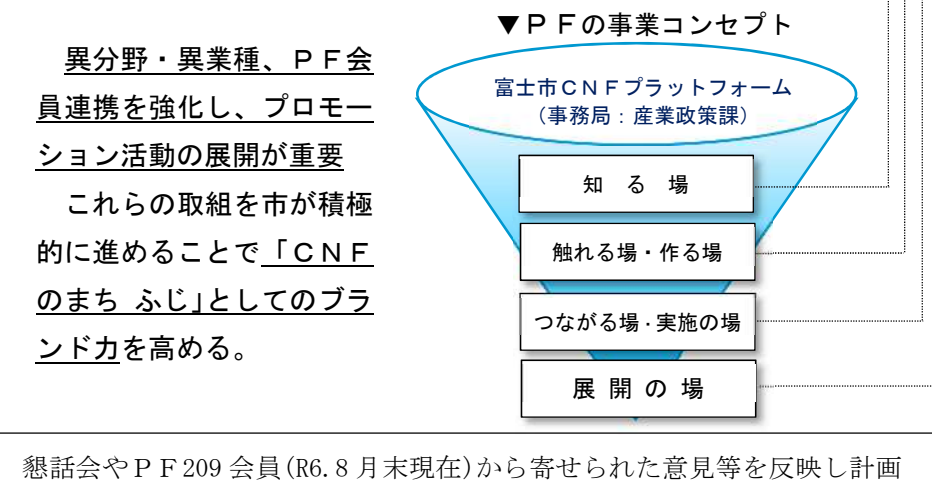
令和5年10月に、静岡県と富士市は連携して、国際シンポジウム及び国際展示会を開催し、市内外から2,000人以上が来場した。引き続き、様々なプロモーション事業等を通し「C N Fのまち ふじ」の認知度向上、地域ブランド化を進める。

《第2期アクションプラン》（R4～R6）

Action1 C N Fに関する情報の共有と有効活用

Action2 用途開発を加速するマッチング機会の創出と強化

Action3 「オープンイノベーション」の場の創出と支援



令和6年実施事業（★は新規事業、☆は拡充・変更事業） 小事業予算額：22,143千円

知る場：C N Fの普及啓発、理解促進に資する事業

《富士市 C N F-P F 設立 5 周年シンポ★》
報償費 200 千円、委託料 602 千円 他
P F 会員対象のセミナーを会員以外も対象に拡大し、広く C N F への理解促進、基本的知識の習得を目的に開催

《C N F 普及推進チーム活動☆》
報償費 640 千円、印刷製本費 38 千円
普及推進員、P F 会員企業等でチームを組み、出前講座等の実施により、市民レベルでの C N F 普及啓発を図る。

《P F 会報誌作成》
印刷製本費 53 千円
P F の活動や企業の取組等を紹介し、C N F の普及啓発・理解促進を図る。

《C N F ウェブサイト運営》
委託料 1,558 千円
C N F の基礎情報、P F の紹介やセミナー案内等をアップしたウェブサイトの運営費

触れる場・作る場：C N Fの活用に向けたサポート事業

《産学連携C N F チャレンジ補助金》
補助金 5,000 千円（1,000 千円×5 件）
C N F の用途開発・研究を促進するため、高等教育機関や研究機関、C N F 製造企業との共同研究・開発費用の一部を補助する。
・補助金交付実績を踏まえた件数設定

《富士市C N F 連携拠点活用事業》
委託料 4,000 千円、消耗品費 30 千円、負担金 6 千円
当市のC N F 活動拠点における「研究開発」と「人材育成」に関するプログラムを実施する。

《富士市C N F ブランド製品等活用勉強会》
報償費 60 千円、消耗品費 40 千円、印刷製本費 16 千円
C N F の応用が見込まれ、当市の産業と関連が深い市場分野やP F 会員の素材シーズ（富士市C N F ブランド認定素材製品等）に特化した利活用に関する勉強会を開催する。
勉強会は、出口テーマを明確にし、本気度の高いP F 会員等によるクローズドな環境において、C N F の特性等のデータの共有や応用事例等を把握し、研究開発やものづくりにつながるネットワーク体制の構築を図る。

《デジタルツールを活用したC N F オープンイノベーション促進事業》
委託料 4,994 千円
C N F の認知度向上、P F の取組を紹介するとともに、P F 内外のプレーヤーが連携し、どのようにC N F を使うのかの議論や新しい活用方法を見出したり、技術のすり合わせを行う「オープンイノベーション（O I）」活動を行う場を、デジタルO I プラットフォームを活用して実施。共創・協業パートナーを発掘し、企業のO I への取組の促進を図る。

つながる場・実施の場：C N F 関連製品・産業創出に向けた連携・ネットワーク構築に資する事業

【研究開発】
P F 会員の大学等研究者を代表者に、会員企業との連携により、大学等が保有する技術シーズを連携する企業に展開する。
【人材育成】
P F 会員を対象としたC N F 基礎講座や、「C N F に触れる・作る・使う」をテーマにした実習形式等のセミナーを開催する。
（効 果）
・P F 会員連携の促進とC N F 関連人材の創出
・C N F を核とした産学連携の促進
・産学官連携拠点の活用による域外からの誘引

勉強会を経て、研究開発やものづくりに資する座組を構築し、連携による出口創出に向けた具体的な取組（プロジェクト組成）を展開（効 果）
・C N F ブランド認定製品の実用化
・C N F の市場優位性が高く、インパクトのある製品開発に向けた体制の構築
・川上から川下のC N F 利活用の議論の場

P F 会員の研究シーズやC N F 特性等のリソースの提供、解決したい課題の提示、協業・共創パートナーの募集などを通して、C N F 用途開発の加速を図る。
（効 果）
・既存のC N F 関連以外のプレーヤーや幅広い連携によるC N F の実用化の加速
・企業のO I の理解促進と事業への導入

《P F ビジネスマッチング会（ふじのくにセルロース循環経済展示会）》 ・委託料 495 千円
ふじのくにセルロース循環経済展示会において、静岡県と連携し、大学等研究シーズの出展や来場者とP F 会員等とのビジネスマッチング会を開催する。

展開の場：富士市発C N F ブランドの価値を高め社会・市場に広める事業

《P F 活動プロモーション推進事業》
・委託料 2,090 千円、普通旅費 76 千円
東京ビッグサイトなどを会場とした展示会は、サプライヤーやユーザー、研究機関など、多くの出展者や来場者が集うビジネスマッチングの場となっている。P F 活動と会員の技術・製品等の紹介・P R による「C N F のまち ふじ」のプロモーション活動を展開する。

《富士市C N F ブランド認定事業》
報償費 60 千円 他
市民等に対するC N F 関連製品の価値や意義を認知する機会となるとともに、認定者はビジネスツールとして活用する。継続した製品等の認定とブランドマークの活用により、富士市発C N F 関連技術・製品のプロモーション効果を創出する。

《C N F 関連イベント等におけるデジタル技術活用事業★》
委託料 1,200 千円
スマホの位置情報等を利用し、C N F 等に関心・興味がある層やビジネスターゲットに対し、効果的・効率的な広報展開を行い、C N F 関連事業への集客・誘客を図り、ひいてはC N F のまちの認知度を高める。

上記以外の取組：C N F 入門セミナー開催、P F 会員等意向調査、C N F 関連産業推進懇話会開催（2 回／年、第3期A P の検討）、他地域のセミナー・シンポジウム等での情報収集・発信、N C J や他地域推進組織等との連携強化 など

「オープンイノベーション」による取組の促進、「C N F のまち ふじ」の認知度向上に資する取組等、第2期A P に基づく事業を着実に進め、社会情勢やC N F 等を取り巻く環境、P F 会員の意向等を踏まえ、推進構想の転換期となる「第3期アクションプラン」を策定